

《企業紹介》

同社はベトナム最大のコングロマリットであるビンググループ（VIC）の傘下にあって、住宅用不動産開発と住宅販売、住宅賃貸運営などの事業を手掛けている。コンドミニウム（マンション）のベトナムでの販売シェアは 30.7%（2016 年 1 月から 2026 年 3 月までの累計値）で国内首位、ハイエンドコンドミニウムに限ると販売シェア 36.4%（同）となっており、強力なブランド力を背景にこのセグメントでは競合他社を圧倒している。ブランド価値や顧客のロイヤルティ向上を図るため、環境対応や IT 技術の応用も積極的に進め、ベトナムで増大する中高所得層の囲い込みを進める考えだ。また、事業構造の多角化を図るために産業用不動産開発事業にも進出している。

《2026 年 4－6 月期業績》

2026 年 4－6 月期の売上高は前年同期比 187.9%増の 52.7 兆 VND（ベトナムドン）と 1－3 月期に続いて大幅な増収となった。2026 年 3 月末時点で受注残高が 201.6 兆 VND となっており、これが順調に消化されているようだ。粗利益率は同 45.0%ポイント上昇の 65.9%へ大きく上昇したため、粗利益は同 808.8%増の 34.7 兆 VND となった。粗利益率の上昇は、前年同期の水準が低かった反動に加え、バルクセール（B2B の卸売）や利益率の高い戸建住宅の売上高構成比上昇が貢献したためとみられる。

営業利益は同 278.9%増の 33.5 兆 VND と粗利益の伸びを大きく下回った。販売費が同 121.0%増の 4,822 億 VND と粗利益率の増加ペースを下回ったほか、一般管理費が同 39.9%減の 5,696 億 VND に減少したが、前年同期に計上した不動産開発子会社の売却益がなくなったことなどによって金融収支が前年同期の 5.8 兆 VND の受取超過から 4,799 億 VND の支払超過に転じたことが影響した。税前利益は同 263.6%増の 32.8 兆 VND、純利益は同 200.8%増の 22.5 兆 VND となった。

2026 年 4－6 月期の受注高は同 104.3%増の 66.4 兆 VND に増加しており、受注残高も同 42.4%増の 196.8 兆 VND と高水準の伸びを維持している。2026 年 7－9 月期以降の売上高も 4－6 月期と同等以上の高水準の伸びが維持される可能性が高い。同社は 2026 年 12 月期について、売上高を前期比 56%増の 285 兆 VND、税引後利益を同 38%増の 60 兆 VND と計画している。1－6 月累計実績の進捗率は売上高が 41%、税引後利益が 87%となっている。売上高はほぼ計画通りの進捗のようだが、収益性の改善は会社想定を上回るペースで進んでいるとみられる。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	18,315.5	-35.5	16,420.0	-50.7	103,009.5	217.8	65,114.2	314.8	52,721.6	187.9
粗利益	3,821.9	-56.0	2,465.7	-74.7	33,622.5	163.6	31,369.6	508.2	34,732.4	808.8
(粗利益率、%、%ポイント)	20.9	-9.8	15.0	-14.2	32.6	-6.7	48.2	15.3	65.9	45.0
販売費	218.2	-78.0	447.8	-72.5	308.4	-60.7	371.9	-49.2	482.2	121.0
一般管理費	947.7	24.8	1,230.7	11.0	2,431.9	10.6	941.9	-31.4	569.6	-39.9
金融収支(マイナスは収入)	-5,828.1	-	-4,452.0	-	-1,749.2	-	-717.8	-	479.9	-
営業利益	8,848.4	-29.0	5,240.1	-52.2	32,631.1	91.2	30,774.7	702.5	33,529.7	278.9
税前利益	9,033.0	-26.8	5,420.4	-50.0	32,985.8	103.0	30,726.8	700.3	32,840.6	263.6
純利益	7,508.0	-31.1	4,183.9	-46.8	26,726.2	119.8	25,551.9	850.3	22,583.2	200.8

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンホームズ(VHM)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を 2025 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は前年の大幅な上昇の反動で、3 月までは VN 指数をアンダーパフォームする状況がみられたが、4 月からは業績好調を反映してアウトパフォームに転じている。8 月 17 日時点で VN 指数が 2025 年末比 3% の下落となっているのに対して、同社の株価は同 14% の上昇となっている。8 月 17 日の終値 68,200VND で計算した時価総額は 560.2 兆 VND であり、この水準は 2025 年 12 月期実績の純利益 41.1 兆 VND の 14 倍となっている。

図表2 株価の推移



出所 各種データをもとに当社作成

受注高や受注残高も高水準が続いていることに加え、都市部のハイエンド住宅の供給が依然として需要を下回る状況となっていることから競合状況が改善し、販売価格も安定しているようだ。以上のような状況から、今後の業績拡大の確度が高まり、良好な株価パフォーマンスが続いているとみられる。切れ目なく準備されている開発案件、住宅市場の好調継続、競争力の一段の向上なども株価パフォーマンスを後押しするだろう。浮動株考慮後の時価総額の大きさから、ベトナム株式市場がフロンティア市場から新興国市場へ格上げされることによる需給改善期待も株価パフォーマンスに貢献する可能性がある。今後も良好な株価パフォーマンスの継続が期待できる状況にあるといえそうだ。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。